

採用担当者はオープンソースのプロフェッショナルを求めている

- オープンソース・ジョブズレポート2020



- 採用担当者の81%がオープンソース人材の採用を優先すると回答
- 採用担当者の56%が、今後6ヶ月以内にオープンソースプロフェッショナルの採用を増やすことを計画しています。
- 採用担当者の57%が、認定資格者の採用を優先すると回答し、2018年の47%から大きく上昇
- 雇用者の80%が、従業員がオープンソースソフトウェアを学ぶためのオンライントレーニングコースを提供していると回答しています。
- 採用担当者の62%が資格取得者を採用する可能性が高く、2018年の47%から増加しました。
- 採用担当者の93%が、オープンソースのスキルを持つ十分な人材を見つけることが困難であると報告しています。

Linux Professional Institute (LPI)

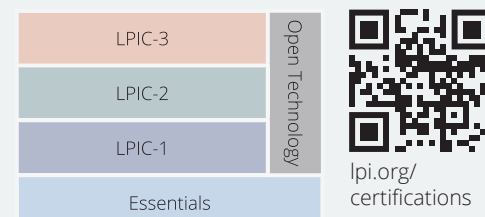
認定資格は、スキルがあることを主張するのではなく、それを証明するものです。

証明された資格は、履歴書の山の頂点に立ち、採用担当者のホットリストに載ります。もちろん、人事部のファイアウォールを通過する最短の方法であることは言うまでもありません。LPIのベンダーニュートラルな認定資格は、オープンソースソフトウェアの多用途性を示しています。これらの資格に合格すると、特定のベンダーの技術に制限されることなく、複数のオープンソース技術を扱うことができるようになります。仕事で経験する環境を反映させることができます。

私たちは詳細な試験目的を提供しているので、試験準備の時間をより効率的に使うことができます。また、LPIの認定資格は5年間有効であり、他の資格よりも長い有効期間を有しています。

LPIは、世界中のプロフェッショナルを認定しています。LPIは、国際的に認知された標準であり、世界中で求められるスキルを身につけ、キャリアを積むことができます。

LPI認定資格一覧を見る



LPIは非営利団体です

Linux Professional Institute (LPI) は、オープンソースプロフェッショナルのためのグローバルな認定基準およびキャリア支援組織です。

20万人以上の試験保有者を擁する、世界初かつ最大のベンダーニュートラルなLinuxおよびオープンソースの認定機関です。LPIは、180カ国以上でプロフェッショナルを認定し、多言語で試験を実施し、数百のトレーニングパートナーを擁しています。私たちの目的は、オープンソースの知識とスキルの認定を普遍的に利用できるようにすることで、すべての人に経済的・創造的な機会を提供することです。

Linux Professional Institute Japan

Linux Professional Institute (LPI) 日本支部

☎ 03-5826-8491 ✉ info-ja@lpi.org

🌐 www.lpi.org/ja/

📘 www.facebook.com/LPIConnectJA/

✂ x.com/LPIConnectJA



LPI C-1

Become Linux certified

Linux Professional Institute (LPI) 認定を受けたプロフェッショナルは、仕事においてより良い成果を上げています。より高い報酬の仕事を得て、キャリアを向上させ、より多くの選択肢、柔軟性、スキルのポータビリティを得る可能性が高くなります。これは、LPIがオープンソースプロフェッショナルのための世界的な認定基準およびキャリア支援組織であることを考慮すれば、驚くことではありません。



Linuxの認定資格でキャリアアップ

LPIC-1 は、Linux Professional Institute が提供するマルチレベルの Linux Professional 認定プログラムの最初の認定資格です。

LPIC-1 は、コマンドラインでの保守作業、Linux を実行するコンピュータのインストールと設定、および基本的なネットワークの設定ができる能力を検証するものです。

LPIC-1 認定資格に必要な前提条件はありません。

101 および 102 試験は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語（現代）、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、日本語で受験することができます。

LPIC-1 に合格するには、次のことができる必要があります。

Linux コマンドラインでの作業、簡単な保守作業の実行、ユーザーのヘルプ、大規模システムへのユーザーの追加、バックアップと復元、シャットダウンと再起動、ワークステーション(Xを含む)のインストールと設定、Linux ワークステーションを LAN とインターネットに接続することができます。

LPIC-1 認定を受けるには、101 と 102 の両方の試験に合格する必要があります。



LPIC-1は、世界的に最も認知度の高いLinuxの認定資格の1つです。

LPIC-1認定で取得できる仕事。

- システム管理者
- ヘルプデスクエンジニア
- 技術コンサルタント
- トレーナー
- システムプログラマー
- アプリケーションプログラマー
- データベース管理者 (DBA)
- プログラマー / アナリスト
- システムアーキテクト
- QAエンジニア

72%

72%が認証取得により効率アップ
(短時間でより多くの生産が可能に)

- ビアソンVUEバリュー・オブ・
IT認定資格レポート2021年版

80%

現在、雇用者の80%が、従業員がオープンソースソフトウェアを学習するための
オンライントレーニングコースを提供し
ていと報告しています。

オープンソース・ジョブズレポート2020

94%

世界中の意思決定者の94%が、
認定されたチームメンバーは認定にか
かる費用以上の付加価値を提供すると
回答しています。

- ビアソンVUE バリュー・オブ・IT認定資格採用者
Report 2021

キャリアの勢いを増すためにLinuxとオープンソースのスキルを検証
したいITプロフェッショナルにとって、なぜ待つ必要があるのでしょうか。Open Source Jobs Report 2020によると、採用担当者の81%がオープンソースの人材を採用することを優先していると回答しています。



LPIC-1試験101トピック



- 101: システムアーキテクチャ
- 102: Linuxのインストールとパッケージ管理
- 103: GNUとUnixのコマンド
- 104: デバイス、Linuxファイルシステム、ファイルシステム階層標準

LPIC-1試験 102トピック

- 105: シェルとシェルスクリプト
- 106: ユーザーインターフェイスとデスクトップ
- 107: 管理タスク
- 108: 重要なシステムサービス
- 109: ネットワーキングの基礎
- 110: セキュリティ

試験の内容を推測で理解する

試験の目的は、試験で出題される可能性のあるトピックと、それらのトピックの相対的な重要性を示しています。
Linux Professional Institute (LPI)の試験準備にどの教材を使用するにしても、各試験の出題範囲を確認することは、学習計画の中核となるべきものです。

学習教材について

Learning は Linux Professional Institute (LPI) の取り組みで、Linux およびオープンソースの認定資格の取得に向けた準備をサポートするものです。
ラーニングマテリアルでは、講師や学習者向けに無料の教材を継続的に発行しています。
Linux Professional Institute Publishing Partner (LPP) プログラムでは、商用およびフリーな出版プラットフォームとの協力関係を透明なものにします。

詳細情報: learning.lpi.org

